

別表3（第5条関係）

本 審 査 用 書 類

- 1．表 紙
- 2．概要説明書（A3）
- 3．目 次
- 4．内 容
  - (1) 共通事項・・・別紙に示す。
  - (2) 更新時に必要な書類
    - 前回の委員会での指摘事項とそれに対する回答、改善内容
    - 実地調査における指摘事項とそれに対する回答、改善内容
    - 登録時と更新時における構造上及び品質管理上の比較対照表
- 5．注意事項
  - すべてにページを付記する。
  - 大きく章が変わる箇所には、色紙等を使用し、見出しを挿入する。

別 紙

## 本審査用書類（共通事項）

### § 1 申請者及び申請内容の概要

1. 申請者  
(1) 社名：  
(2) 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）：  
(3) 住所（郵便番号、電話番号、FAX番号）：

2. 登録申請の担当者  
(1) 担当者名：  
(2) 住所（郵便番号、電話番号、FAX番号）：

3. 登録申請浄化槽の概要  
(1) 処理方式名：  
(2) 型式名：  
(3) 告示区分：

### 4. 型式認定番号および取得年月日

処理対象人員	人	人	人
型式認定番号			
取得年月日			

### § 2 申請内容の概要

1. 一般事項  
1-1 視野  
(1) 視野率（80%）・・・（表 1）

処理対象人員		人	人	人
視野率	嵩上げしない場合（%）			
	嵩上げ30cmの場合（%）			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表す。

1 - 2 マンホール枠の上端から各部位の上面（ 15cm ）及び水面までの距離（ 55cm ）  
 ……（表 2）

[ cm ]

処理対象人員		人	人	人
各弁類までの距離	散気管用			
	逆洗管用			
	空気逃がし管用			
空気配管途中の接続部（ユニオン）までの距離				
薬剤筒までの距離				
水面までの距離	嫌気ろ床槽			
	接触ばっ気槽			
	沈澱槽			
	消毒槽			

注）表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表す。

1 - 3 弁類 ……（表 3）

処理対象人員		人	人	人
散気管用	数			
	色			
	型式			
逆洗管用	数			
	色			
	型式			
空気逃がし管用	数			
	色			
	型式			
エアリフトポンプ用	数			
	色			
	型式			

1 - 4 空気配管及び汚泥配管の位置及び支持方法

（1）空気配管及び汚泥配管の位置及び支持方法に関して、次の質問にお答えください。

質問 空気配管及び汚泥配管の取り付け位置は、保守点検及び清掃作業の障害とならない位置ですか。

質問 弁類を操作する際、片手で空気配管を支持しなくても、空気配管が変形あるいは破損しない材質及び支持方法ですか。

質問 汚泥配管途中の清掃口は、300mm嵩上げした状態でも、マンホール等からブラシ等の掃除用具を用いた掃除がし易い位置及び形状ですか。

質問 汚泥配管の掃除を行う際、片手で汚泥配管を支持しなくても、汚泥配管が変形あるいは破損しない材質及び支持方法ですか。

処理対象人員		人	人	人
質問	はい・いいえ			

(2) 空気配管及び汚泥配管の位置及び支持方法等に関する資料

資料は別添としないで、以下に示すような項目に整理したものを提出する。

1) 空気配管及び汚泥配管の取り付け位置

例えば、空気配管及び汚泥配管の取り付け位置が明らかになる図、保守点検及び清掃作業の障害とならないように配慮した事項を箇条書にしたもの。

2) 空気配管及び汚泥配管の材質及び支持方法

例えば、空気配管及び汚泥配管の材質及び支持方法が明らかになる図表、弁類を操作する際、片手で空気配管を支持しなくても、空気配管が変形・破損しないように配慮した事項を箇条書にしたもの。

3) 汚泥配管の掃除口の位置及び掃除の方法

例えば、汚泥配管の掃除口の位置が明らかになる図、汚泥配管の掃除の方法を示したもの。

1-5 有効水深・・・(表 4)

(1) 各单位装置の有効水深

例) 嫌気ろ床接触ばっ気方式

[ mm ]

処理対象人員	人	人	人
嫌気ろ床槽			
接触ばっ気槽			
沈澱槽			
(実推進)			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表す。

(2) 汚泥貯留機能等の安定化

有効水深が1.4m未満の場合、汚水の時間最大流入時においても汚泥貯留機能等の安定化を図るための工夫内容に関する資料、例えば構造上の特徴や実証試験方法及びその結果を簡潔に整理したものなどを提出する。

なお、資料は別添としないこと。

2. 嫌気ろ床槽

2-1 ろ材の種類及び充填方法等・・・(表 5)

項目	第1室	第2室
商品名		
形状		
材質		
比表面積 ( m <sup>2</sup> / m <sup>3</sup> )		
充填方法		
網状のものの開口率 ( % )		
板状等の場合は、 目幅 ( ピッチ ) ( mm )		
小円筒状等の場合は、 代表径 ( mm )		
ろ材の外観 ろ材の外観が明らかになるように撮影した写真をこの欄内に添付。		

2 - 2 ろ材の充填状況

(1) 第1室・・・(表 6)

処理対象人員	人	人	人
ろ材の充填率 (%)			
規則充填の場合のろ材の分割数			
不規則充填の場合の充填個数 (個)			
充填個数 (個 / m <sup>3</sup> )			
1			
2			

- 1 充填個数 (個) を充填部分の容量 (m<sup>3</sup>) の  
 2 1 m<sup>3</sup> の立方体に充填したときの値

(2) 第2室・・・(表 7)

処理対象人員	人	人	人
ろ材の充填率 (%)			
規則充填の場合のろ材の分割数			
不規則充填の場合の充填個数 (個)			
充填個数 (個 / m <sup>3</sup> )			
1			
2			

- 1 充填個数 (個) を充填部分の容量 (m<sup>3</sup>) の  
 2 1 m<sup>3</sup> の立方体に充填したときの値

2 - 3 平面形状

(1) (L / W) 値・・・(表 8)

処理対象人員	人	人	人
L <sub>1</sub> / W <sub>1</sub>			
L <sub>2</sub> / W <sub>2</sub>			

注) 表中の値は、小数点2桁目を四捨五入、小数点1桁で表わす。

$$\begin{array}{ll}
 L_1 : \text{第1室の最大長さ} & L_2 : \text{第2室の最大長さ} \\
 W_1 : \text{第1室の相当幅} & W_2 : \text{第2室の相当幅} \\
 (= V_1 \times 10^9 / (L_1 \times H_1)) & (= V_2 \times 10^9 / (L_2 \times H_2))
 \end{array}$$

(2) 短絡流の防止

L<sub>1</sub> / W<sub>1</sub> < 0.6あるいはL<sub>2</sub> / W<sub>2</sub> < 0.4の場合、各室内に短絡流が生じないようにするための工夫内容に関する資料、例えば構造上の特徴や実証試験方法及びその結果を簡潔に整理したものなどを提出する。

なお、資料は別添としないこと。

2 - 4 断面形状

( 1 ) 第 1 室の断面形状・・・( 表 9 )

処理対象人員	人	人	人
流入管底から水面までの距離			
臭突口の下端から水面までの距離			
流出管上端開口部から水面までの距離			
水面からろ材押さえ面までの距離			
ろ材の充填深			
ろ材受け面から槽底までの距離			
有効水深			
流出管下端開口部から槽底までの距離			
: ( / )			
: ( / )			
: ( / )			
: ( / )			
流入部におけるバップルの有無：有・無			
流入部にバップルが設けられている場合は、水面からバップル下端までの距離			

注 1 ) 表中の ~ 及び の値は、単位を [ mm ] とし、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

注 2 ) 表中の ~ の値は、小数点以下 2 桁目を四捨五入、小数点 1 桁で表わす。

( 2 ) 第 2 室の断面形状・・・( 表 10 )

処理対象人員	人	人	人
汚水の流れ			
水面からろ材押さえ面までの距離			
ろ材の充填深			
ろ材受け面から槽底までの距離			
有効水深			
汚水が下向流の場合、流出管下端開口部からの槽底までの距離 ( 汚水が上向流の場合、流入管下端開口部からの槽底までの距離 )			
: ( / )			
: ( / )			
: ( / )			
: ( / )			
汚水が下向流の場合、流入部におけるバップルの有無：有・無 ( 汚水が上向流の場合、流出部におけるバップルの有無：有・無 )			

注 1 ) 表中の ~ 及び の値は、単位を [ mm ] とし、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

注 2 ) 表中の の値は、小数点以下 2 桁目を四捨五入、小数点 1 桁で表わす。

注 3 ) 表中の ~ の値は、小数点以下 3 桁目を四捨五入、小数点 2 桁で表わす。

## 2 - 5 ろ材の支持方法

### (1) ろ材受け面及びろ材押さえ面等の強度

ろ材受け面及びろ材押さえ面等の強度については、下記の質問にお答えください。

質問 蓄積汚泥とろ材の全重量が支持枠に掛かった状態でも、支持枠は壁面から外れることがないような取り付け方法ですか。

質問 ろ材受けは、槽内水を全量引き出し、蓄積汚泥とろ材の全重量がろ材受けに掛かった状態でも、変形、破損しない強度ですか。

質問 ろ材押さえは、ろ材充填部分にガスが蓄積し、ろ材に浮力が掛かって、ろ材が浮上しない強度ですか。

質問 ろ材押さえ面に網様シートを用いている場合、網様シートは、清掃に際してサクションホースの先端をろ材押さえ面に沿って移動させ堆積汚泥を引き出した時や高圧水で洗浄した時でも、破損しない強度ですか。

質問 ろ材との接触面が狭い補強材の場合、清掃時にろ材受けが破損しない代わりに、ろ材が破損することはありませんか。

質問 板状等のろ材の場合、清掃時に圧力水でろ材を洗浄しても、ろ材は破損しないような強度ですか。

質問 ろ材押さえ部分の支持枠と補強材の接合部の取り付け方法は、ろ材が破損した場合に修理できるよう、支持枠と補強材の取り外し及び取り付けが容易にできますか。

処理対象人員	人	人	人
質問 : はい・いいえ			

### (2) ろ材受け面及びろ材押さえ面の強度等に関する資料

資料は、別添としないで、以下に示すような項目に整理したものを提出する。

#### 1) ろ材受け面の支持枠と補強材の形状、取り付け方法及び強度

例えば、ろ材受け面の支持枠と補強材の形状及び取り付け方法が明らかになる図表、その強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

#### 2) ろ材押さえ面の支持枠と補強材の形状、取り付け状態及び強度

例えば、ろ材押さえ面の支持枠と補強材の形状及び取り付け方法が明らかになる図表、その強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

#### 3) 板状ろ材等のろ材の強度

例えば、強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

2 - 6 清掃孔

( 1 ) 清掃孔の数及び大きさ・・・(表 11)

処理対象人員	人	人	人
清掃孔の数(本)			
第1室			
第2室			
清掃孔に内接する円の直径(mm)			
第1室			
第2室			

2 - 7 隔壁の強度

( 1 ) 隔壁の強度に関して、次の質問にお答えください。

質問 第1室だけの槽内水を全量引き出した状態でも、第2室側からの水圧等によって槽壁と隔壁の取り付け部分より水漏れが生じたり、隔壁が著しく変形あるいは破損したりすることはありますか。

処理対象人員	人	人	人
質問：はい・いいえ			

( 2 ) 隔壁の強度に関する資料

隔壁の強度に関して、第1室だけの槽内水を全量引き出した状態でも、第2室側からの水圧等によって槽壁と隔壁の取り付け部分より水漏れが生じたり、隔壁が著しく変形あるいは破損したりすることがないように配慮した事項が明らかになる資料、例えば、その強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したものを提出する。

3 . 接触ばっ気槽

3 - 1 接触材の種類及び充填方法等・・・(表 12)

項目	第1室	第2室
商品名		
形状		
材質		
比表面積 ( m <sup>2</sup> / m <sup>3</sup> )		
充填方法		
網状のものの開口率 ( % )		
板状等の場合は、目幅(ピッチ) ( mm )		
小円筒状等の場合は、代表径 ( mm )		
接触材の外観 接触材の外観が明らかになるように撮影した写真をこの欄内に添付		



(2) 接触材受け面及び接触材押さえ

資料は、別添としないで、以下に示すような項目に整理したものを提出する。

1) 接触材受け面の支持枠と補強材の形状、取り付け方法及び強度

例えば、接触材受け面の支持枠と補強材の形状及び取り付け方法が明らかになる図表、その強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

2) 接触材押さえ面の支持枠と補強材の形状、取り付け方法及び強度

例えば、接触材押さえ面の支持枠と補強材の形状及び取り付け方法が明らかになる図表、その強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

3) 板状等の接触材の強度

例えば、強度の基準値、試験方法及びその結果を簡潔に整理したもの。

3 - 4 散気装置

(1) 散気管の形状及び長さ・・・(表 14)

処理対象人員	人	人	人
散気管の形状			
散気管の系列数			
水面部分の幅			
散気管の長さ			
: ( / )			

注1) 表中の 及び の値は単位を [mm] とし、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

注2) 表中の の値は小数点2桁目を四捨五入、小数点1桁で表わす。

(2) 散気管の水平の調整方法

水平の調整機能の有無：有・無

散気管の水平が調整できる場合、調整方法に関する資料、例えば構造図や調整幅をしめたものを提出する。

なお、資料は別添としないでください。

3 - 5 逆洗装置

(1) 逆洗管の形状及び取り付け位置・・・(表 15)

処理対象人員	人	人	人
逆洗管の形状			
逆洗管の系列数			
接触材受けから逆洗管までの距離 (mm)			
逆洗管から槽底までの距離 (mm)			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

### 3 - 6 汚泥移送装置

#### ( 1 ) 各部位の寸法・・・(表 16)

処理対象人員	人	人	人
汚泥移送管の終点の管底から水面までの距離			
汚泥移送管の起点の管底から移送先の水面までの距離			
汚泥移送管の直径			
エアリフトポンプの下端開口部から槽底までの距離			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

#### ( 2 ) 汚泥移送量の調整方法

汚泥移送量の調整方法を分かりやすく説明した資料を提出する。例えば、分水計量器が設けられている場合は、三角せき部分の水位と移送量との関係(清水の場合)を示す表あるいは図を提出する。

### 3 - 7 汚泥引き出し管

#### 汚泥引き出し管の形状・・・(表 17)

処理対象人員	人	人	人
汚泥引き出し管の上端開口部から水面までの距離			
汚泥引き出し管に内接する円の直径			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

### 3 - 8 送風機

#### ( 1 ) 送風機的能力・・・(表 18)

処理対象人員		人	人	人
吐出風量 [ /分 ]	50Hz			
	60Hz			
ばっ気強度 [ m <sup>3</sup> / m <sup>3</sup> ・時 ]	50Hz			
	60Hz			

注) 弁類の操作手順を図示したラベルや維持管理要領書の記載内容が汚泥移送装置の常時稼働の場合、上段には全吐出風量で算出した値、下段にはエアリフトポンプへの送風量を差し引いた値で算出した値を記入する。

なお、常時稼働以外の場合は、下段の欄には記入しないこと。

#### ( 2 ) 送風機の耐用年数

通常の使用状態の場合(取扱説明書に記されているような点検・保守を行った場合)における送風機の耐用年数を記入する。

耐用年数： \_\_\_\_\_ 年

#### 4. 沈澱槽

##### (1) 越流せきの長さ等・・・(表 19)

処理対象人員	人	人	人
せきの長さ [ mm ]			
越流負荷 1 [ m <sup>3</sup> / m・日 ]			
せきの形状 2			

1 200 / 人・日の場合の越流負荷

2 三角せきあるいは平せき

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

##### (2) 越流せきの水平の調整方法

越流せきの水平の調整機能の有無：有・無

越流せきの水平が調整できる場合、調整方法に関する資料、例えば構造図や調整幅を示したものを提出する。

なお、資料は、別添としないこと。

#### 5. 消毒槽

##### (1) 薬剤筒の容量

処理対象人員	人	人	人
薬剤筒内の消毒剤保持量 [ g ]			

注) 表中の値は、小数点以下を四捨五入、整数で表わす。

##### (2) 消毒剤と沈澱槽流出水との接触状況の調整方法

消毒剤と沈澱槽流出水との接触状況の調整機能の有無：有・無

消毒剤と沈澱槽流出水との接触状況の調整方法に関する資料、例えば構造図や調整幅を示したものを提出する。

なお、資料は、別添としないこと。

### § 3 添付図面

処理対象人員ごとに1枚ずつ、各単位装置の概要が明らかになる平・断面図を提出する。

#### § 4 写真集

##### ( 1 ) 槽上部の開口部の真上から浄化槽内を覗いた場合の槽内状況

処理対象人員ごとに、マンホール等の各開口部から浄化槽内を覗いた時、見ることのできる範囲が明らかになるように撮影した写真を添付する。

その際、資料は処理対象人員ごとに以下に示すような方法で整理する。

( 例 ) 5人槽

流入



放流

1 2 3 4

5 - 1	5 - 2	5 - 3	5 - 4

写真を貼り付ける用紙の大きさは、縦方向はA 4の長辺の長さとし、横方向は必要な枚数の写真が貼り付けられる長さとする。

##### ( 2 ) 水準目安線

--

( 3 ) ろ材受け面及びろ材押さえ面の外観

処理対象人員ごとに、所定の位置に取り付けたろ材受け及びろ材押さえの全景が明らかになるように撮影した写真を添付する。

その際、資料は処理対象人員ごとに以下に示すような方法で整理する。

処理対象人員	人	人	人
ろ材受け面			
ろ材押さえ面			

写真を貼り付ける用紙の大きさは、縦方向はA 4 の長辺の長さとし、横方向は必要な枚数の写真が貼り付けられる長さとする。

( 4 ) 接触材受け面及び接触材押さえ面の外観

処理対象人員ごとに、所定の位置に取り付けたろ材受け及びろ材押さえの全景が明らかになるように撮影した写真を添付する。

その際、資料は処理対象人員ごとに以下に示すような方法で整理する。

処理対象人員	人	人	人
接触材受け面			
接触材押さえ面			

写真を貼り付ける用紙の大きさは、縦方向はA 4 の長辺の長さとし、横方向は必要な枚数の写真が貼り付けられる長さとする。

(5) 逆洗管の外観

処理対象人員ごとに、所定の位置に取り付けたろ材受け及びろ材押さえの全景が明らかになるように撮影した写真を添付する。

その際、資料は処理対象人員ごとに以下に示すような方法で整理する。

処理対象人員		
人	人	人

写真を貼り付ける用紙の大きさは、縦方向はA4の長辺の長さとし、横方向は必要な枚数の写真が貼り付けられる長さとする。

§5 提出資料作成及び提出上の留意事項

- (1) §1及び§2の用紙の大きさはA4判とし、一緒に綴る。
- (2) 写真集は、写真あるいは写真のカラーコピーとする。
- (3) §3の添付図面と§4の写真集と一緒に綴る。
- (4) 提出書類は、上記の2種類((1)と(3))のものを25部提出する。
- (5) 資料は、平成 年 月 日( )までに全国浄化槽推進市町村協議会事務局に提出する。

§6 ろ材及び接触材等

ろ材、接触材、弁類及び分水計量装置等の実物を提出する。

ろ材及び接触材が板状等の場合、その大きさは一辺が30cm程度の立方体1個とする。

ろ材及び接触材が小円筒状等の場合、その数は3～4個程度とする。

弁類は、散気用、逆洗用、空気逃がし用及びエアリフト用等を各1個、用途を示したラベルを貼り付けたものを提出する。その際、各弁類が円滑に動くかを確認しておくこと。

計量装置あるいは分水計量装置の場合、計量機能あるいは分水計量機能の部分だけを1個提出する。

散気管の水平調整用の偏心リング等を用いる場合、散気管の所定の位置に偏心リング等を取り付けたものを提出する。